

開催協議会名	令和5年第3回江津警察署協議会		
開催日時	令和5年9月5日（火）午後2時00分から午後4時00分まで		
出席者	協議会委員	5人（森野会長、森下委員、吉岡委員、山根委員、佐々木委員）	
	警察署	6人（署長、次長、生活安全刑事課長、警備課長、交通課長、総務係長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	防犯意識の高揚方策について
		説明概要	次長が資料に基づき、江津警察署の防犯施策を説明、生活安全刑事課長から、防犯電話設置推進について、防犯電話機の実演を交えて説明した。
		答申(意見等)	別紙のとおり
	その他	治安情勢	生活安全刑事課長から、県内及び管内の治安情勢及び市内で発生した特殊詐欺状況等について説明した。
		交通情勢	交通課長から、県内及び市内の交通事故情勢について説明した。
		意見等	別紙のとおり
視察等	・実戦的総合訓練（巡回連絡の指導）		
写真	 【会長挨拶】  【署長挨拶】		



【防犯電話機実演状況】



【実戦的総合訓練（巡回連絡）視察状況】

意 見 等

○ 防犯意識の高揚方策について

- ・ 防犯電話機を実際に見てみると、とてもいい施策であると感じた。全ての高齢者に配れるようになれば、特殊詐欺の被害が減ると思う。
- ・ 広く防犯電話機を使ってもらうために、予算もあると思うので、値段を下げて、多くの人に関心を持ってもらえるようにすればいいのではないかな。
- ・ 民生委員をしているが、こういった施策があれば、高齢者に紹介しやすい。各地区の民生委員は、普段から各世帯を訪問していることから、民生委員と連携して行くと、広く普及につながると思う。
- ・ コミュニティセンターで行われる防犯教室に行くことが出来る人もいるが、地区によっては、東西や南北に長い等で、コミュニティセンターまでいくことができない高齢者も存在していると思う。もっと小さなサロン等の集まりが各地区にあると思うので、そこに出張するなどして、防犯教室を行えば、これまでよりも違った人に防犯教室をすることができるのではないかな。

【警察回答】

防犯電話については、反響も大きく、すでに多くの方に申請して頂いている。高齢者世帯全てに配ることは難しいが、来年度以降の施策継続について、市役所等とも話をしている。その際、1回の支援金を下げるなどして、多くの人を利用してもらえるようにということも検討したい。

現在も市内の弁当業者や介護タクシー等の事業所等と連携して情報提供をしたり、チラシを配って頂いたりしている。民生委員とも積極的に連携するなど、今後とも関係機関団体とともに防犯意識向上を図っていく。